

かていゅうやく

昭和52年12月25日

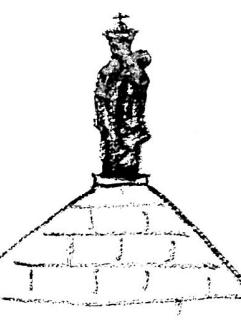
題字・先代 藤井得三郎氏

歴史と家庭薬

東京都衛生局薬務部
衛生課長 内海正保

テレビの番組ではありませんが、「家庭薬」という言葉から、私は、「歴史」という言葉を連想します。そこで、「歴史」考をひとときり。英語にも、ドイツ語にも、フランス語にもヒストリーという言葉があり、普通、これを「歴史」と訳していますが、中味は大分違うようです。ヒストリーの語源は、ギリシャ語のイストリアで、これはもともと探求するという意味だそうです。町や村をあっちこっちと歩き廻り、そこで起つた出来事を探し求めるというところらしい。ヒストリーという言葉は、そういう感じで使われています。

また、ドイツ語には、ヒストリーというギリシャ語からきた言葉のほかに、ドイツ語系のゲシヒテという言葉があります。これも歴史と訳されていますが、このゲシヒテという



言葉は、ゲゼーエンという動詞から來たもので、起るとか、生起するという意味をもっています。起った事柄が「歴史」というわけです。ヒストリーと言い、ゲシヒテと言ふいろいろなことが起きるということです。この世で起きる事は実に多く、この二つの言葉からは、「多」を感じます。ところが、「歴史」の歴は「ふる」ということです。経歴の歴も、履歴の歴も「ふる」という感じがします。あっちこっちと、散らばっているものを探し集めるという感じは、この「歴」という言葉には全くありません。経歴でも、履歴でも、来歴でも、その昔「正法眼藏有時」の中で、「かしこに處にあるににたれども而今なり」と言われています。「歴史」は護らなければならぬ。過去の形骸を思ひきつて葬ったとき、「歴史」は、而今(今)ここに生きているのです。一つのものが「ふる」とよって、磨きがかけられ、歴然とによって、磨かれ、かたちづけられた「家庭薬」は、間違なく、今も生き続け、躍動しているのです。

副理事長就任

ごあいさつ

救心製薬社長

堀 泰 助

このたび伝統ある東京家庭薬工業協同組合の副理事長をお引受けすることになりました。微力ではございませんが、誠心誠意、力を尽して、この重責を全うし、組合員の皆様方のご期待にお応えしたい所存でございまますので、一だんのご鞭撻とご協力をお願いする次第でございます。

さて、家庭薬業界はいま、生産、販売ともに大きな変革期を迎えております。昨年末のGMPの実施、繁用薬における承認基準の策定に統じて、一般用医薬品の薬効再評価も、焦眉の問題として、刻一刻近づいて参りました。薬効と安全性の両面にわたくて、行政当局の規制は、ますますきびしさを加えておりました。また、流通の面では、過度競争による、価格の乱れが、各流通段階に悪影響を及ぼし、適正利潤確保を

脅かして、これが正常化に向って大きく変貌しようとしています。

現在家庭薬業界の安定と発展は、この流通を正常化することをおいてないと考えるものでございます。

戦後、量販店、スーパー、現金卸等の出現により、今までの流通経路とは別の路線が出現し、中でも量販

店と同列に位置する小売店は、利益が圧迫され、家庭薬に対する販売意欲の減退は、家庭薬の地盤をゆるがす結果を招来するに到りましたこと

は、先刻ご承知の通りでございまます。ここに到り、御は家庭薬卸七社が協議会を結成し、問題処理に正面から取組む姿勢をみせたことは、大いに前進と申せましょう。

しかしながら、メーカーとして、当然望むことは、小売店の利潤の確保であります。今日までの有名商品も、小売店の指名推奨なくしては、いかに大量の宣伝投資を行っても、やがて無名に帰ることがないとは保証できないからでございます。チーンがここ一、二年の間に大きな発展を遂げたのは、小売店が安心して売れる、即ち、量販店の脅威にさらされることなく販売でき、しか

ることこそが、今後の流通を制するキメ手と考えるものでございます。

製造に関し、行政当局の有効性と安全性をめぐる規則が、ますます強化されることは、医薬品として当然の命題であり、同時に消費者優位化されることは、医薬品として当

いう時代の趨勢とも申せましょ

う。

しかし、国民医療の中に占める家庭薬の位置づけは、セルフメディケーションによる初期治療、軽医療の分野を分担するとはい、その重要性は何ら変わってはおりません。私どもは、医薬保険制度の発展につれ

て家庭薬部門のシェアがやや沈滞化味であるとしても、国民生活に占める家庭薬の重要な役割りの主張に、聊かもたじろぎをみせてはならないと思うでございます。

差し当つての問題は薬効再評価でございます。家庭薬がセルフメディケーションによる軽医療を対象としているという性格上、精密な臨床試験データー等による有効性の立証

を守り、家庭薬を発展させることこそ、伝統ある家庭薬を守る当面の手段だとも思考する次第であります。

繰り返しますが、小売の利益を確保できません。幸い世界大衆薬協会の数年前の大會で、米国のH.E.W.(教育厚生省)の長官が「多年市場にあって親しまれてきたOTCについて、有効性立証のデータがなくとも、その経験的事実を重視する」と発言しております。

ただ、医薬品問題に対する世論のきびしい当世だけに、私どもとして出来る限りの安全性の資料を整備することこそ、伝統ある家庭薬を守るための手段だとも思考する次第であります。

ただ、医薬品問題に対する世論のきびしい当世だけに、私どもとして出来ることこそ、伝統ある家庭薬を守るための手段だとも思考する次第であります。

繰り返しますが、小売の利益を確保し、流通を制することは、家庭薬を守り、家庭薬を発展させることこそ、伝統ある家庭薬を守るためにゆきづまりをみせている医療制度の下にあって、セルフメディケーションの重要性をPRし、そのもつとも合理的な手段として家庭薬の使用をPRすることは、とりも直さず、家庭薬を世論の側から支える大きな要素となることを確信します。

大衆薬の中核として、私ども家庭薬が、多年にわたって国民に愛され、業界の一層の結束が望まれるわけでございます。皆様のご協力をお願ひ致します。ここに聊か所信を述べ就任のごあいさつといたします。

家業・企業

エーザイ社長 内藤裕次氏

味龍角散社長 藤井康男氏

業界の異端児と呼び、やんちゃ坊主と呼ばれる気鋭の経営者同士の対談は教養の質こそ違え、次元の高さでは伯仲するご両氏だけに、予想どおり内容の濃いものになりました。

藤井 どうも本日はお忙しいところをわざわざありがとうございます。 「かていやく」に対談を連載しているのですが、何か最近の所感をお聞かせ下さい。

内藤 先日、ある座談会で上坂冬子さんの薬不信心の立場からの発言を聞かされましたね。

私は中和剤の気持から、一夜漬の漢方薬の話をしたのが記事になつてしまつて。

藤井 その記事の裏話は日本大衆薬懇談会の新井事務局長から聞きました。

内藤 ミネラルは多年使われているので、誤解もあるのではないかでしょうか。薬草や臨床医学的にではなく、歴史的に安全だといえますが、それについて、上坂さんは知りたいとおっしゃっていました。

藤井 日本一の実力ある製薬会社の社長である内藤さんのご意見をお聞きしたいですね。



内藤 藤井裕次氏

内藤 そうのようですね。薬草や書いてありますよ。（笑）

藤井 わざと認知されたくないようなことを言つたりしているんだからなあ。

内藤 私は無口な男でね。（笑）

藤井 医家向医薬品で開発力をお持ちになっているし、大衆薬でも独特のシェアをお持ちになっている大

会社の二代目でいらっしゃるし。

内藤 あなたも二代目でしょう。

藤井 いや、私は七代目ですよ。

内藤 そんな立場から今後の大衆薬に対し

てどの程度力を入れになるのか、本音を聞かせて下さい。

内藤 一般薬プラス健康食品としての市場ならたいへん伸びていると

いえますね。かつては一般薬の中に

健康食品らしいものも含まれてい

たのですが、それがはっきり分かれ

て副作用すなわち薬害という考え方から薬が消費者の信用を失った間隙

に健康食品が伸びてきたといえますね。

藤井 医薬品の規制にくらべて、

健康食品に対する規制が野放しにな

っているように思いますね。八割く

ね。

内藤 ええ、やりません。九七%

が純粹でもあと三%が何であるか

明確でなければうちの研究室は承認しませんからね。とても健康食品な

んか出せませんよ。

藤井 そのうちに健康食品も規制

されるようになるかも知れません

ね。今がリストチャレンスかも知れな

内藤 いや、私が藤井さんを業界の「暴れん坊」だと言つたら、藤井さんが私を新薬業界の「私生児」だと言つたんですよ。ちゃんと日記に書いてありますよ。（笑）

藤井 医薬品卸さんや薬局さんが成りたつからですよ。

内藤 米国なんか歴史の浅い国で

すから、日本の漢方とか家庭薬とかの歴史がないので、健康食品は各州の許可によって売られています。例えればビタミンEなんかそうです。

日本ではビタミンEは医薬品ですが、天然ビタミンEが食品の名で売られているケースがあります。

内藤 医薬品としての伸びが健康食品に食われているわけだけれど、消費者にとっては医薬品だろうが健康食品だろうがどちらでもいいことなのです。ニードに合つていればね。

藤井 健康食品はエーザイとしてはおやりにならないのですか。

内藤 ええ、やりません。九七%

が純粹でもあと三%が何であるか

明確でなければうちの研究室は承認しませんからね。とても健康食品な

んか出せませんよ。

藤井 そのうちに健康食品も規制

されるようになるかも知れません

ね。今がリストチャレンスかも知れな

い。クロレラなんかよくひとに聞かれるのですが、クロレラは宇宙空間で他のものが育ちにくい条件でも光を受けとめてタンパク質を合成できるからこそ貴重なのであって、地球上でなんものを高く売る理由はないですよ。

内藤 クロレラがからだに合つていると思って喜んでいる人もあるんだから、それはそれでもいいのでは

ないですか。

藤井 プラセボは認めますがね。ただ、極端に高い値段で、極端に期待させるような広告は問題だと思うたしかに、安全性については日本や中国で長い間の歴史があるから信

用してもいいというのですが。漢方薬にはたいへん良い処方があるけれども、複合の理由がわからな
い。歴史的データはあるけれど、科学的データがないというのです。科学的データが欲しいといつても、中國やベトナムやビルマなど、漢方薬を多用している国々は、歴史的データだけでよいという答えなのです。

しかし、WHOの東太平洋地区総会

に来日したFDAの次官に会つたとき、彼は「安全性は歴史的データだけいいという点に問題がある」というご意見でした。

藤井 科学的な解明は不可能だと

思いますね。

内藤 わが国では、家庭薬は比較的容易に許可されていますが、米国では駄目なのです。

津村重孝さんが先日日本に於ける家庭薬の許可基準や手続きを翻訳して世界の大衆薬協会に贈呈されましたら、たいへん喜んで米国の協会でF.D.A.を持っていて研究してもらいました。

藤井 米国では無理でしちゃね。が、メデイカルハーブにも問題点はあると思いますね。

内藤 WHOでも話が出たのです

が、メデイカルハーブにも問題点は

あると思いますね。

たしかに、安全性については日本

や中国で長い間の歴史があるから信

用してもいいというのですが。

漢方薬にはたいへん良い処方があ

るけれども、複合の理由がわからな

い。歴史的データはあるけれど、科

学的データがないというのです。科

学的データが欲しいといつても、中

國やベトナムやビルマなど、漢方薬

を多用している国々は、歴史的デー

タだけでよいという答えなのです。

しかし、WHOの東太平洋地区総会

に来日したWHOはいろいろ考えているけ

す。

れども、将来は各国が特殊事情に応じて運営すべきではないでしょ

うか。

藤井 フィリピンやインドネシア

の場合は不幸だと私は申しあげたので

す」とおっしゃるのですが、そういう

ことは唐辛子をぶつかれたのを食べて治

りますね。

内藤 ライセンスはあるのですか。それが無医村地域で医療行為を行つてゐるのです。

藤井 そんなものはありはしません。個人で体質がちがい、处方がちがう

政府の高官やメデイカルプロフェッショナルは近代医学を身につけて

いるので、これを罪悪視しています。

内藤 が、民衆からハーブドクターを取り上げてしまつたら、地方の人たちは医療の恩恵に浴するチャンスがなく

なってしまいます。このハーブドクターをどう教育するかが為政者の問題になつてゐるようですね。

藤井 日本の西洋医学導入の頃と似ていますね。

内藤 ところで、大衆薬にどのくらいウエイトを置いておられますか。

藤井 医師の処方箋を必要としない

い医薬品は二〇%維持できればいい

と思っています。

内藤 本当に意味で一般用医薬品を必要とするのは無医村地域だと思うのです。日本以外の文明国では

の場合は医学にはあります、日本では医学の教授でも案外知らない人が多いのです。日本以外の文明国では

の場合は医学にはあります、日本では医学の教授でも案外知らない人が多いのです。日本以外の文明国では

の場合は医学にはあります、日本では医学の教授でも案外知らない人が多いのです。日本以外の文明国では

のが関の山だらうという感じをもちらますね。日本の医療費はG.N.P.の四%強ですが、欧米並みの八%になるのは年数がかかりますね。

藤井 ヒポクラテスの宣誓というものが医学にはあります、日本では医学の教授でも案外知らない人が多いのです。日本以外の文明国では

医師の免許証を取得するときは宣誓させられます。

高度のライフサイエンスには、それに伴う倫理があるべきです。医学でもそれがやぶやくなっているのですから、薬学ではけし飛んでいるような気がします。

薬まがいの食品でもいいじゃないかとか、好きなものは勝手にのませておいてもいいじゃないかとか、儲ラテスの宣誓に相当するものが必要ではないでしょうか。

内藤 昔の倫理は通用しなくなるのではないか。

藤井 信用されないのはそれがな

いからだとはお考えになりませんか

内藤 「八甲田山」という映画を若者が観に行きますね。あれも昔はあつたけれども今はなくなってしまったものが、再認識されているので

はないでしょうか。高年層や中年層が一度否定したものが、苦者の血の中に残っていて、それがよみがえてくる、つまり今の価値観や倫理観

医師の免許証を取得するときは宣誓させられます。

思いますね。

藤井 遺伝子のなせるわざは雪崩現象を起こしますね。

エーザイという会社は、お世辞じゃなく、倫理性が高いと思います

内藤 うちではアミノピリンは絶対にやらなかつたんです。その理由は父がピリン疹が出るんですよ。体験からいけないものは絶対にやらないという社のエゴ丸出しの倫理性があ

ります。

藤井 新薬メーカーは伝統がないから、新薬開発に対する売上高の八%以上の研究開発費をかけています。これでやらないと会社がつぶれてしまう。ところが、家庭薬ではこれをやっているでしようか。企業と家業との考え方の違いなのでしょうか。

藤井 私はそれをやらないとつぶれると思っています。

内藤 あなたが家庭薬の異端児だからですよ。(笑)

ナッターマンの倫理はヒポクラテスであり現代の学問的レベルによって、自分たちの使命を再評価した施設をみずから造ったといふことでしょう。

藤井 ヒポクラテスの宣誓は出生することを考えることがありますよ。

内藤 三月のWHOの会合のときナッターマンを見学しましたが、ナッターマンはいわゆる草根木皮を扱っているながら、各種毒性テストやいろいろの研究施設を持っています。

このような施設を持つている家庭薬

メークーが日本にあるかどうか、つまり再評価をしているメークーがあります。先祖とか、歴史的データばかりを打ち出していくはいけないということです。

藤井 柴胡加龍骨牡蠣湯になぜ牡蠣が入っているかという説明はでき

ないが、牡蠣を除いたら効かなくな

るということは実証できます。不必

要なものを入れてはいけないという

実験です。

内藤 研究開発費がこう高くなると、米国でも悲鳴をあげています。

将来は、研究のコープレーションと

いうものが出てくるような気がしま

す。例えば、日本と米国の会社が同じテーマで、急性と慢性を分担して

やつて、いこうという話はすでに出て

きました。

しかし、日本の企業の間では出てこないですね。そのうちに出てくる

でしようけれど、

藤井 家庭薬に対するアドバイスを聞かせて下さい。

内藤 昔はよかつたというノスタルジアがあるようですね。

藤井 資質の問題ででしょうね。藤社長は口は悪いけれど、会長からひきついだ社内コードもあるし、社長ご自身のコードもあるし。

家庭薬業界には見当らないもので
すね。

内藤 あの社内コードは昭和八年

頃、神戸の三星堂さんに新入社員の
教育資料がありましてね。それによ
く似ていますから、恐らく父はそれ
をとり入れたものでしょう。

電話のかけ方、お辞儀のしかたな
んかまでありますね。それを現代
的にしたもののです。

それと、最近感心したのはIBM
です。日本的なところがありまして
終身雇用や年功序列制とかがありま
して、社内倫理規程もあるそうで
も決められています。このコードに
違反すると、訴訟になつても弁護士
をつけてもらえないとかがきめられ
ているのだそうです。立派なもので
すよ。

藤井 いい話ですね。ところで、
後継者の問題ですが、どうお考えに
なっていますか。

内藤 僕もそれを考へてるので
す。世襲制は駄目だという意見もあ
りますが、あなたが駄目でもないで
しょう。僕の場合は、父が定年後始
めた会社で、僕が最古参社員だった
わけです。父のような合理主義的な
人が世襲制なんか考える筈はありません

せん。あれならまあまあだろうとい
うことで跡を継いだのは、父が七十
五歳のときでした。

内藤 五歳のときでした。

父が事業を始めたときは「社員に
は親類知己のろくでもないのを集め
た」と自伝に書いています。

昭和二十八年にはじめて社員を一
般募集したのですが、それまでは縁
故以外は一人も社員が入つてこなか
ったのです。

僕は世襲には反対です。他人と同
じように子供を評価します。

藤井 一般的にいつ、社長の第
一線引退の時期はいつ頃とお考えで
すか。

内藤 社長就任後十年だと思つて
います。僕は十一年目です。

藤井 話はちがいますが、くすり
博物館はちょっと不便ですね。将来
もっと便利な場所へ移転する計画は
ありませんか。

内藤 資料の貸出しはしています
。イタリアの同じような財團が催し
をやるという藤沢の早川社長のご
つせんで、こちらへも貸すことにな
っています。

藤井 父がワシントンで、スマソニアン
インスティチュートのドクター・ハマ
ネさんというシリアル人と肝胆相照ら
しましてね。日本でもやりましょ

うことで、このようなくすり博物館をつくることになつたのです。

父は子供たちを呼び集め、俺には
た」

が親類知己のろくでもないのを集め
ただけの財産があるが、欲しけれ
ば分ける、要らなきや財團の基金に
しままうと言うのです。遺産には
義務感が伴うから要らないと言つた
ところ、それでは使つてしまおうと
いうことで、ライフサイエンスを振
興するための財團をつくり、その財
團の事業の一つとしてくすり博物館
があるというわけです。

僕の持株はせいぜい二%くらいの
ものですから、オーナーシップを持
株とは関係ないと思っていました。
藤井 今日はいろいろといふお話を
ありがとうございます。

藤井 最近は『大衆薬受難の時代』とい
えるかもしない。昭和三十四～五
年頃に大衆保健薬ブームを謳歌した
ことを思うと、隔世の感があろう
し、ブームの経験者にとって悲
歎その極にありといつても過言では
ないかも知れない。

「それでは、もはや大衆薬の時代
は去つたのか」「もはや、大衆薬に
未来はないのか?」――「そんなこと
はありません。人類に自己治療本能
が存在する限り、大衆薬は滅びない
」と評論家は断言する。たしかに、
医療保険制度の完備は大衆薬需要を
落とす大きな要因であった。高橋光
正氏ら反クスリ論者と、これにつな

上作戦などという非常時体制もど
きの言葉が業界を横行している。そ
れほど大衆薬の地盤沈下がはげしか
つたということであろう。

浮上作戦と銘打つて、各メークー
がアレコレの手立てや、PRに心を
砕いている一方では、板橋区や港区
の消費者の会のよう、高橋光正氏
を先頭に立てて、せつせと大衆薬に
独断判定で○×△をつけ、パンフレ
ットにして世に配つたり、できるだ
け消費者が薬を買わなくなるよう
にしようという運動も、しだいにはげ
しくなつてきている。

試練に立つ

日本大衆薬懇談会
専務理事 新井 誠

がる消費者グループのあくなき薬メー
カーアー攻撃も、消費者をクスリ嫌い
に導く一つの要因ではあつたろう。

石油ショック以後の不況も、消費者
の財布のヒモを固くし、大衆薬を売
れなくした一つの要因とみてまちが
いはない。

しかし、大衆薬にとって、これ

らの要因も、一瞬の低迷のためのも
のでしかないと思うのだが、いかが
なものであろうか。メーカー各位の
ご努力とご苦心はみなみなならぬも
のがある。だが、只今は、受難期
というより、新時代に移行する前の
試練期という気がするのである。目
の玉をカッと見開いて、要因の底に
あるもの、ウラに潜むものを採り、
対処すべきものには対処し、国民生
活に密着してきた大衆薬の家庭医療
における意義を、業界が一致団結、
精魂こめてPRすべきときだと考え
ている。

このあとには、またもや、二十一
世紀に向かって悠々と安定した軌道
をゆく大衆薬の姿があると確信して
いる。

"試練期" というと、すぐに出で
くるのが、GMPであつたり、薬効
再評価であつたりする。これはもち
ろん重要である。しかし、立ちす
そするような措置は賢明ではない

くんだり、戸惑つたりするほどのも
のではない。一時しのぎを考え
て、企業の大きいなる発展を考え
るならば、あまりためにはならない
であろう。むしろ、時代の要請と受
けとめ、いちばんやくこれを真正面か
ら悠然と乗り切る経営者に軍配が上
るに違いない。

「そんなことをいつても、大衆薬の
再評価をどうする。臨床データを出
すのがむずかしいときに、約了定規
な措置を押しつけられたら困る」な
どという心配があるかもしれない。
大衆薬、とくに "家庭薬" の名で多
年にわたって国民の間に親しまれて
きた製品には、「伝統」という言葉
にふさわしい信用が密着しているこ
とを忘れてはならない。

四十九年五月、米国グリーン・ブ
ライアード開催された世界大衆薬協
会(WFPPM)の第三回総会に
は、日本の大衆薬業界の代表も多数
参加した。この会議の席で、米国H
E W(教育厚生省)の長官ワインバー
ガー氏は記念講演し「多年にわたり
市場に出ており、愛用されてきたO
TC(大衆薬)が、ただ単に絶対的
な効能を科学的に実証できないから
といって、こんな製品を市場から驅
逐するような措置は賢明ではない」

と述べている。

政治は生きものだとよいわれる
のではない。一時しのぎを考え
て、企業の大きいなる発展を考え
る。これに加えて、大衆薬業界のす
べてが同じ心配に固まっており、し
が、政治と行政の定規といつてよ
い。米国に限らず、日本もよその國
も一般にこの方式はまかり通つてい
る。これに加えて、大衆薬業界のす
べてが同じ心配に固まっており、し

い。使用期限、着色料、価格不統一
の問題が、消費者集会における大衆
薬の三原則といわれるほど、質問が
殺到するようになってきている。ナ
ットクできる回答が示されるまでは
この問題は続くだろうし、大衆薬浮
揚の足をひっぱる要因として残るで
ある。

業界の古い慣習が邪魔しているの
であれば、それを改めるのが先決で
あり、そうではなくて、使用期限な
どは大衆薬に不需要だという理由が
あるのであれば、これをPRし、同
局でも、講談に出てくる悪代官のよ
うな仕打ちをするであろうか。いま
のお役所は、むかしと違つてズンと
良識の府である。現に、当局側にも
のう指導をするといった運動を、普
及させる必要があるだろう。現に使
用期限を、九製剤以外にまでつける
メーカーがふえてきていることも考
えなくてはなるまい。

くすべき手は尽くして、次に同じ思
いの業界の強固な團結で進むしかな
い。この意味で、不安の残る向
きは、まず何をおいても大衆薬懇談会
に入会されることをおすすめするし
だいである。

時代の要請は再評価だけではな
い。使用期限、着色料、価格不統一
の問題が、消費者集会における大衆
薬の三原則といわれるほど、質問が
殺到するようになってきている。ナ
ットクできる回答が示されるまでは
この問題は続くだろうし、大衆薬浮
揚の足をひっぱる要因として残るで
ある。

業界の古い慣習が邪魔しているの
であれば、それを改めるのが先決で
あり、そうではなくて、使用期限な
どは大衆薬に不需要だという理由が
あるのであれば、これをPRし、同
局でも、講談に出てくる悪代官のよ
うな仕打ちをするであろうか。いま
のお役所は、むかしと違つてズンと
良識の府である。現に、当局側にも
のう指導をするといった運動を、普
及させる必要があるだろう。現に使
用期限を、九製剤以外にまでつける
メーカーがふえてきていることも考
えなくてはなるまい。

外資系のメーカーで大衆薬の今後
に期待をかける向きが多いのは、医



療保険制度の限界見通しがでてきたことよりも、むしろ、この業界の流通慣行の前近代性に目をつけ、ここに参入の余地を見出しているという説も根強い。そんな意味で、現在は受難期というよりも大衆薬の試験期であり、むしろさらに一步を進めて二十一世紀に向かっての黎明期だという気がするのである。

日本大衆薬懇談会もようやく発足

いらい六年を経過した。最近では、大衆薬はもちろん、他のクリア問題についてまで問い合わせがくるよう

になつた。これは全国から来る。P

R作戦の成果であり、津村会長はじめ幹部諸氏のご奮闘とご英断の賜物と敬意を表している。

それにつけても、この一年ほどの間に忘れる事のできないことは、日本医師会長・武見太郎先生の好意あるご支援を得たことであつた。

昨年十一月八日、東京プリンスホテルで開いた大衆薬懇談会創立五周年の記念講演を武見先生が快諾して下さったのは、津村会長の懇請によるものであったが、この席で武見先生は大衆薬は民族の英知伝承の産物と説いた。かつては家族ぐるみの健

とべくセルフメディケーションを行なわれていた。医療保障制度のゆきわたつた現在でも「家族が健康の防衛単位であること」は復活させなければならぬことと大衆薬の位置づけを示された意味は大きいのである。本年三月末と八月末の二回にわたって掲載した朝日新聞によるセルフメディケーションの大広告企画にも、武見先生の大衆薬に関する注目すべき論文が寄稿されたことは先刻ご承知の通りである。

とくに八月の「大衆薬をどう上手に使うか」の論文は、医療問題の最高権威の考え方として、きわめて含蓄に富みとりわけ家庭薬を生産するものにとっては、力と勇気を与えるものではなかつたかと思うのである。ぜひもう一度読み直して頂きたい。紙面がないので、その冒頭と結びの一節を紹介し、家庭薬メーカーの皆様が、勇氣百倍、明日に向かって進まれることをお願いするしだいである。

「WHOが主催し厚生省が後援する“On the Use of Medicinal Plants in Health Care”健康保持における薬用植物の利用」についてのセミナーが、九月十三日～十七日に東京で開かれました。

「国際伝統医学について」

会長 津村重孝

全国家庭薬協議会

日本の属しているWHOの西太平洋地域委員会が直接組織する事になつてゐるのでその地域の国が主体となりWHOが働きかけて地域外のインド、インドネシア、タイその他諸の国からも参加させる事になりました。さてWHOについては充分ご存知の方もおられるのでしょうか、ご存知ない方々の為に概略を記します。WHOは国連の下部組織ですが大変大きな機構をもっています。

きな危機が来ると予測しています。中華人民共和国において伝統医学によいかは、母親の選択によります。家庭にそのような常備薬があれば、大事に至らずにすむことが往々にしてあります。大衆薬は家族の健康状態を熟知した家庭でのみ有効に使われるのです。(中略) 大衆薬の新しい発展は、家庭生活の充実とともに新しい出発をすることだと思います。」

WHOが主催し厚生省が後援する「On the Use of Medicinal Plants in Health Care」健康保持における薬用植物の利用についてのセミナーが、九月十三日～十七日に東京で開かれました。

趣意書からその目的と性格に関する記述を抜粋して見ましょう。「WHOは一九八〇年には医療資源の大

で、ほとんど独立した機関のようない働きます。

世界を六分割し、それぞれの地域に支部をもっていますが、その一つが先にふれました西太平洋地域でこの支部をW P R Oと略称します。

支部はフィリピンのマニラにあって、オーストラリア・中華人民共和国・カンボジア・フィジー・日本・ラオス・マレーシア・パプア・ニューギニア・フィリピン・韓国・シンガポール・ベトナム・トンガ・西サモア・仏領ニューカレドニア・英領香港・ソロモン諸島・米領グアム・米国委託統治領ボルトガル領マカオ・ニュージーランド領クック諸島以下太平洋上の多くの島々を含んでいます。WHOは国連と同様各政府からの拠出金で運営されますから、各国から選出される代表で構成され運営される理事会や総会では各国の思惑が露骨に出るようですが、事務局はこれらの影響を出来るだけさけるような配慮がされていて、事務職員は各国から採用されますが、全て事務総長のみ忠誠をちかう事になつており、厳正中立の立場はかなり良く保持されているようです。

医薬品を取扱う部は部長のファトルッソー氏がイタリア人で、医薬品

の政策等を担当する課の課長は中島博士です。中島博士は生薬に特に理解が深く数年前からこのセミナー

の開催を強く推進しておられましたが、昨年ジュネーブのWHO本部で中島博士にお目にかかる時改めて

一九七七年九月WHO西太平洋地域委員会の会議が日本で開かれる前後にこのセミナーを開きたいで協力してほしいという御依頼を受けたのでした。帰国して関係者に相談したところ通常このような国際会議は少なくとも準備に一年以上はかかると言ふ事と、WHOの前述した会議と二つのよく似たセクションの国際会議を同じ時期に開くと言うことは準備や運営を受持つ方々の負担が過重になります。WHOは国連と同様各政府からの拠出金で運営されますから、中島博士が来日され強く開催を主張され、厚生省も民間団体で経費や事務を引受けてくれる処があれば本年かつたのです。しかし本年二月再び中島博士が来日され強く開催を主張され、厚生省も民間団体で経費や事務を引受けてくれる処があつたのです。この会議を通じて各國にはそれぞれ貴重な資料がある事が判つたが、必要とする人々に充分分配布されないので、この問題を解決する事は充分意義ある事だと思いました。

終りにあたつて、下村博士以下衛生試験所の方々、厚生省薬務局並びに国際課の方々を始めとして東京都家庭薬工業協同組合は清水氏津村研究所の吉岡所長等の御協力とこのセミナー開催の主旨に賛同され多額の資金拠出に応じて下さった業界の方々に深く感謝の意を表しま

らわずか半年で準備も資金手当も何とか目鼻がつき、無事開催する事ができました。

会議には地域内ではWHOのセミナーには初参加という中華人民共和國から四名、ベトナムから三名が参

加された外、十四か国から代表が参加は意義が深い。(3)その国の伝統医学には、その国の生薬しか使用できないのではないかと言う疑いがあつたのが氷解し、開発途上国は一般に生薬の輸出に強い希望を表明しました。特に、弊社の静岡工場見学等を契機として会議の後半は日本への生薬輸出への熱意が高まって来るのを感じました。

この会議を通じて各國にはそれぞれ貴重な資料がある事が判つたが、必要とする人々に充分分配布されないので、この問題を解決する事は充分意義ある事だと思いました。

WHOの正式記録は来年春にならぬと出来ないようですが、大略はありました。

即ち①生薬の基準を決めるのは、



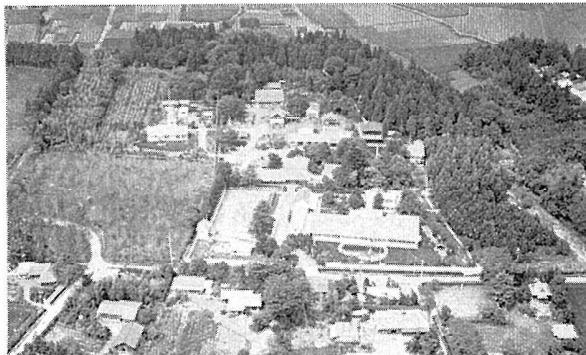
会場風景

仲々困難な点もあるが、全ての国で少しづつ作業が初まつていて、それが少しづつ進んで、少なくとも西太平洋地域での共通の基準書のようなものが近いうちにまとまる可能性がある。

宇津救命丸(株)

高根沢工場

栃木県塙谷郡高根沢町



上野駅から東北本線で約二時間の
宇津救命丸高根沢工場がある。

高根沢工場は昨年十二月に増改築したもので、工場棟、製品倉庫、厚生棟からなっており、延べ五五〇坪ある。「宇津救命丸」の製造工程にそつて工場の見学をさせて頂いた。仕入れられた原料生薬は倉庫でサンプリングされ、原料試験の合格品が洗滌室に送られる。ここではジエット水流によって洗滌が行なわれ、脱水乾燥したものが粉碎室に送られる。大型のペブルミルで粉碎された各原料は箇別され調合室で処方通り調合される。一定期間熟成された調合粉末は製丸室で糊剤を入れ、よく練合し製丸機で丸剤にされ乾燥、選丸の後、銀箔で箔付し、中間製品として試験を行なわれる。合格品が中間製品倉庫に保管され、順次、次の包装工程に送られる。

順次、次の
包装工程に送られる。

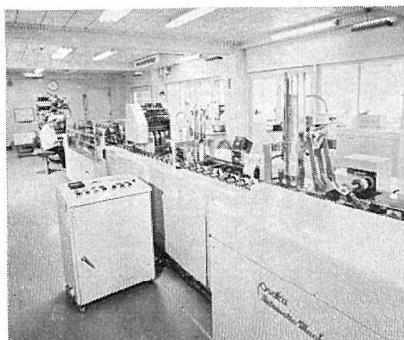
台風一過、秋空を思わせる上天気の一日、友田委員長以下三名の弘報委員が工場見学をさせて頂いた。

自然にめぐまれたG M P工場

広々とした畠地に点在する民家、里塚から移転した宮内庁の御料牧場もある。

絵に書いた様な農村風景がひろがる中に工場がある。すぐ近くには三里塚から移転した宮内庁の御料牧場もある。

高根沢工場は昨年十二月に増改築したもので、工場棟、製品倉庫、厚生棟からなっており、延べ五五〇坪ある。「宇津救命丸」の製造工程にそつて工場の見学をさせて頂いた。仕入れられた原料生薬は倉庫でサンプリングされ、原料試験の合格品が洗滌室に送られる。ここではジエット水流によって洗滌が行なわれ、脱水乾燥したものが粉碎室に送られる。大型のペブルミルで粉碎された各原料は箇別され調合室で処方通り調合される。一定期間熟成された調合粉末は製丸室で糊剤を入れ、よく練合し製丸機で丸剤にされ乾燥、選丸の後、銀箔で箔付し、中間製品として試験を行なわれる。合格品が中間製品倉庫に保管され、順次、次の包装工程に送られる。



包 装 室



製 丸 室

「宇津救命丸」四百年の歴史
この工場について語る時、切離すことのできないのが宇津家の歴史である。工場の奥、内堀を渡り長屋門をくぐると宇津家の邸宅がある。その庭園の一隅にある宇津史料館に保存された資料を拝見しながら、宇津家の歴史をさかのぼつてみる。

包装工程はまず検瓶室で検査された瓶に丸剤が充填される。瓶詰め後コンベアで包装室に送られ、ブリスターで透明ケースにパックされる。カートニング・マシンで能書きを挿入し、パッケージに詰め、オートチャッカーによる重量チェック、ロット

ナンバーを捺印し最終製品となる。この段階で最終製品試験が行なわれる。化粧箱さらにカートンケーブスに詰められた製品はベルトコンベアで製品倉庫に保管される。先に述べた通り、この工場は昨年末に完成了したものでG M Pの主旨が生かされている。

従業員は専用出入口から更衣室に入り、作業服に着替えてから作業室に入る。各作業室内は明るく清潔で出入口は自動ドアになっている。調合室、製丸室及び充填室は準無菌室で作業員は専用作業衣に着替えて作業している。この工場の作業員は約五十名で、この内半数以上が女子である。機械化された工程が多いので生産量のわりに従業員は少ない、従業員は殆んど地元の人で、その確保も歴史のある会社だけに問題はないとのことである。

下野の国主宇都宮家の臣であつた宇津権右衛門が、宇都宮家の滅亡により現在工場のある高根沢に帰農したのは慶長二年（一五九七年）十月十三日であつた。以来代々の当主は権右衛門を世襲し、この地にあつて名主、取立役となつて半農半医の家業の中で「救命丸」を創製し、現在にいたつている。

「救命丸」の創製時期は菩提寺淨蓮寺の再三の焼矢で重要な古文書を失なつたため詳らかではないが、製薬に関する古文書が元和年間（一六二〇年）にすることから、すくなくともそれ以前であることは確かである。

野州の秘薬、「宇津の救命丸」を確固たるものとしたものは五代当主重上（逸翁）で、麝香、人参など高文は「宇津救命丸」の処方が一子相

教えで、いうならば、現代のGMPに相当するものといえる。十代重業が父親に提出した血判をおした起証

が、本尊は薬師瑠璃光如来で、日光菩薩、月光菩薩を脇将、十二神將があり、脇侍としておまつりされている。

「宇津救命丸」の調合をしたところといわれる。

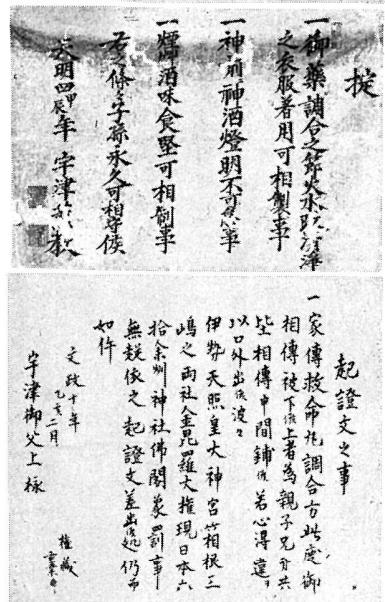
工場の東南の一画に宇津家の墓地があり、隣接して「宇津薬師堂」がある。

堂宇は日光東照宮と同時代の造りといわれている。この敷地内には、觀音堂と絵馬堂があり、絵馬堂には文化、文政年間の奉納句会の額が掲げられている。



野州の秘薬、「宇津救命丸」のイメージ、そして工場周辺の田園風景、それからはおよそ連想できなかつた近代工場が宇津救命丸(株)高根沢工場であった。

古き歴史と最新の製薬設備がこの様に調和した工場は大変にめずらしい存在ではないだろうか。



写真上
中
下
右下
宇津史料館
捷
起証文
宇津誠意軒

ところご案内を頂きました宇津工場長並びに平石研究部長に厚く御礼申上げます。

貴薬の入手が困難であつたため「救命丸」の製薬に大変苦労されたといわれ、宇津家では中興の祖と称している。

伝であつたことを証明するものであ

る。これなど是非常にめずらしい古文書であるといわれている。このほかこの史料館には木彫の神農像をはじめ古文書や製薬道具など多くの貴重な資料が納められている。

この「宇津救命丸」も初期には近郷近在の人々に施し与えられる程度のものであったが、その薬効が評判となり、関東から東北一帯の旅籠や造り酒屋などに置かれるようになりひろまつていった。領主であった徳川、一ツ橋家に毎年、救命丸を献上した古文書は数多く残っている。

展示された資料の中で目についたものに「捷」がある。これは代々の当主が製薬する時の心構えを説いた教えで、いうならば、現代のGMPに相当するものといえる。十代重業が父親に提出した血判をおした起証

が、本尊は薬師瑠璃光如来で、日光菩薩、月光菩薩を脇将、十二神將があり、脇侍としておまつりされている。

野州の秘薬、「宇津救命丸」のイメージ、そして工場周辺の田園風景、それからはおよそ連想できなかつた近代工場が宇津救命丸(株)高根沢工場であつた。

今回の見学は「医薬品の歴史とその本来の姿」といったものを改めたて考えさせられた一日でもあつた。終りに取材に際しましてご多忙の

長老をたずねて

(第二回)

株式会社 藤井得三郎会長

藤井得三郎氏は本名勝之助、ご出生は京都で、中学は途中まで奈良、のちに東京へ転校され、大正十二年青山学院商科を卒業になり、三井物産を経て、昭和四年株式会社藤井得三郎商店のご入社、取締役となり、現在までひとすじに誠実一路を歩まれた方でございます。



天皇陛下とご同年の七十七歳とは見えない色艶のよさで、温雅なお人柄は益々円熟されています。

多年薬業界の発展に尽力され、日々の顕彰を受けておられます。

昭和三十八年に知事褒賞、昭和十四年に知事表彰、昭和四十五年に榮えある厚生大臣表彰を受けておられます。

薬業以外では、赤十字に貢献された功績に対して紺綬褒章を受けられ納税について格段の功労を認められ

に昭和四十六年に勲四等旭日小綬章

た。

益々ご健在で結構でござりますね。

揮受の栄に浴され、昭和五十一年には警察庁長官より功労賞をお受けになるなど、社会福祉に対しても多大の寄与をされています。

時は江戸末期、秋田藩主佐竹侯の

典医藤井正亭治は殿から長崎へ留学を命ぜられ、遠路はるばる長崎に赴き、蘭学を修めて帰藩し、殿が喘息持ちであつたので、佐竹藩に伝わる秘薬の処方を改良して殿にすすめたところ、大いに効があつたので、この処方を拝領したのが竜角散の由来

昭和三年、株式会社に改組し、初代社長に就任しました。

昭和九年、藤井米次郎は二代目社長に就任し、翌十年、初代藤井得三郎逝去に伴い二代目得三郎を襲名されました。

昭和二十二年、東京薬院を吸収合併し、薬効養毛料フミナインAと皮膚病薬テーム水の製造販売を開始しました。

昭和三十七年、臨床試薬製造販売の株式会社ヤトロンを創立、勝之助氏はその社長に就任、昭和三十九年藤井得三郎商店の取締役副社長となり、クララの新発売につづき、社名を株式会社竜角散と改めました。

昭和四十四年、二代目藤井得三郎が九十三歳の天寿を全うされて逝去了されたので、勝之助氏は三代目藤井得三郎を襲名し、現在に至つております。

藤井 お世話役をいろいろやらせ

て頂いたことが認められたからでし

ょう。私の前には湯浅巖さん、渡辺久吉さんが勲四等を揮受されていま

す。

彼は日本全土に販路を拡張し、新聞広告を活用して飛躍的発展をとげ

得三郎は帝国大学医学部別科に学ん

で薬剤師となり、家督を相続して藤

井得三郎商店を開業しました。

彼は日本全土に販路を拡張し、新

家庭薬の皆さんはご長命ですね。

先般亡くなられた宝丹の守田治兵衛さんは九十三歳、津村岩吉さんは百歳でしたね。ご令息の義男さんは私と同年です。

——家庭薬のルーツといいますか、姻戚のつながりはどうなつてい

るのですか。

藤井 大阪の小林が長男、私ども

次男が津村重舎さん、その下が津村

岩吉さんです。山田さんは大和の素

封家で、薬業を始めたので津村

重舎さんも奮闘して上京されました。岩吉さんははじめお目付役とし

た隨意でござります。

藤井 お世話役をいろいろやらせ

て頂いたことが認められたからでし

ょう。私の前には湯浅巖さん、渡辺

久吉さんが勲四等を揮受されていま

す。

重舎さんは市会議員から市会議長になられ、貴族院議員にまでなられました。お亡くなりになるまで岩吉さんを「オイ、岩」と呼び捨てにした

—— 会長さんは功成り名を遂げ

~~~~~

そうです。岩吉さんは「敬天堂」という屋号をおもらいになり、ヘルプと西瓜糖を創められました。

戦時中は東興薬品という企業体を

らいのお見送りで、まあ陛下なみで  
いたね。（笑）

その後、玉置さん、大木さん、福井さん、中田さんの四店で友親会を

が非常に熱心にやつていらつしやい  
ました。

戦前に本舗会というグループがあ

つくり、喜谷さん、太田さん、守田さんなどとご一緒にやつておられま

さんの比重がうかがえますね。

市会議員をやつたレー・ベン

り、問屋さん、メーカーさん、あら

さんなどと一緒にやつておられましたが、戦後また独立されました。

守田さんは津村家と親戚で、津

の中南定太郎さんも津村家とは遠縁

の鳥犀角散とタムシチンキはうちが

村さんは「守田の伯父さん」と呼んでいました。

大和に配置薬があります

津村さんに草鞋を脱いだということ

です。

藤井 市会議員をやつたレー・ベン

出身で、フミナインの横手政五郎さ

んも中将湯出身だそうです。お二人

とも成功者ですが、上京した当時は

東京一手販売でしたが、この二品に

限りで二次卸さんへも直売していま

した。二次卸さんは、なぜ龍角散も

直売しないのかと文句を言われまし

たが友親会に限るという約定を押し

通しました。父は絶対に自説を曲げ

いません。本舗家庭薬です。

いま津村さんが理事長をしておら

れる第一信用金庫はじめ中南定太

郎さんが理事長、横手さんが専務で

したが、その後津村さんがやつてお

られます。第一信用金庫というのは

薬屋さんがみんなで出資していく、

うちでも出資しています。

吉さんの長女を養女にして堀内さん

の奥様のご親戚から良平さんという

仁義といえば、津村岩吉さんも信

名さんは東都薬業界を牛耳ついて

大した勢力でした。そこへ福井さん

という横紙破りの老人が現われまし

たが、明治時代からあつたと思

て、その老人がうちへやつてきまし

た。三千円の小切手を差しだして、

これで首角散の販売権を譲つてくれ

ました。玉置さん一手のグル

ープがありました。黒胡蝶の宅間千

馳走になるのは筋違いだとよく言つ

ていました。

玉友会といふ玉置さん一手のグル

ープがありま

た。黒胡蝶の宅間千

丹治さんそれにうちです。何か問題

になり、今の重舎さんが継がれたわ

けです。

玉友会といふ玉置さん一手のグル

ープがありま

た。良平さんは戦前お亡くなり

ました。三千円の小切手を差しだして、

吉さん、妙布の渡辺輝綱さんなど有

りそれが本舗会に伝わるというやり

つたらとても大したものでした。大

木さん以外とはお取引はできませ

ないのです。うちでは玉置さん、

力メーカーが加盟していまして、実

當時の先代重舎さんのご威光とい

うのです。うちでは玉置さん、

力メーカーが加盟していまして、実

阪へ行かれるときなど、東京駅には守田さん、岩吉さんを始め二十人く

とスタッフモンドしましてね。まだ友親会のできない頃でした。

田中敏明さんと和光堂の藤原俊さん

これから薬友会ですね。甲子社の藤井丹平さん、高橋さん、小林さん、家庭薬卸で作っていた親和会

が東京の友親会とともに大勢力でした。しかしメーカーの数は東京の方が多いのですね。

東京とちがって、大阪は支払いはいいのですが、値切り方は仲々きびしいようでした。

—— 当時の不況といまの不景気とはどうがりますか。

藤井 それは昭和四、五年頃の方があつときびしかったですね。モラトリアムや銀行が閉鎖したりしました。今どちがつて生活物資はそれほど値上がりはなかつたと思います。物価に比例して薬は安いですね。

当時のサラリーマンの昼食は五十銭が相場でしたが今の千円くらいでしょうか。その頃の龍角散は二十銭、三十銭、五十銭、一円、二円、三円とありました。がよく出たのは二十銭(四日分)、三十銭(一週間分)というところでした。

昭和六、七年頃は不景気でいくら宣伝しても売れませんでした。不景気はだいたい十年毎に来るというのは本当ですね。

—— ご趣味のお話を聞かせて下さい。

藤井 陶芸を十年くらいやってます。東郷神社の中にある日本陶芸俱楽部というのがありますて、そこ

の会員なのですが、歌橋さんや津村重孝さんもご一緒です。土に親しむ、土に触れるというのは何もかも忘れていいものですね。

—— 三越での展覧会をいつも拝見しています。

藤井 每年一回チャリティを催しています。毎日新聞が後援の福祉事業なのです。ぐい呑や茶碗、花瓶などがよく出ますね。

一年に二回は窯元へも行くんですよ。作品を作つて一晩置きますと少し乾きますが、それを削つたり直したりして帰つてくると、あとは窯元で焼き上げてくれるのです。

九州へ二度、萩へ二度、金沢へ二度、備前へも行っています。

陶器というものは窯へ入れて焼くときに変化が生まれるのです。松の薪の灰がかかつて偶然に自然釉がかかることがあります。窯を開けるとともにありますね。(笑)

藤井 父が小唄が好きで、お前もやれというので始めました。七十の手習いというわけで。(笑)駒いく美さんが師匠で、先代駒ふくさんの弟子です。

父は小唄が大好きで、朝から晩まで

でうたつていたのです。それが健康法になつていてましたのでようね。慶松勝左衛門先生にすすめられたのが病みつきで、竹内甲子二さんもおやりになり、歌橋さん、守随彦太郎さん

もやるというわけで、駒ふくさんのお弟子さんには名士が多いですね。

父もはじめは下手でやめようと思つたこともありますが、とうとうやり通しました。亡くなる前日もお稽古をさんざんやつて翌日ですから嘘みたいで。九十歳で大往生とは小唄のおかげかも知れません。

母も父の百ヶ日の日に大往生を遂げました。お風呂から上がってやれやれと言つたと思うとそれつきりでした。九十歳でした。

そんなわけで、両親とも息子に迷惑をかけない息子孝行の珍らしい大往生でした。

だんだん古い方が減り、若い層に移つて行くことは結構ですが、昔のことでも知つておいて物事を判断する

ことよりも大切だと私は思いますね。

—— どうも本日はいいお話を聞

## 軍艦長門の思い出

(その二)

—— ガンルームのこと

ヒサゴ薬品株社長

喜谷市郎右衛門

さて、連合艦隊は横須賀での諸々の準備を終り、昭和十四年十二月二十三日の午後、旗艦長門を先頭に、陸奥、山城、比叡等の戦艦を従へて横須賀を出港した。

未だ太平洋戦争の始まつていないこの頃の連合艦隊は、確かに威風堂々という形容詞そのもので、頼母しい陣容であった。

東京湾を出て、太平洋上を本州南岸に沿つて下ると、たちまち舷側には始めて見る黒潮の流れがある。十

二月の末だから、洋上の風は身を切るようになつて寒いが、我々は特に付かなければならぬ戦闘配置もないで艦橋で洋上訓練を見学させて貰つた。

夜になつて、暗闇に包まれる頃になると、駆逐艦による、帝国海軍得

意の夜間襲撃訓練が始まる。

煌々と照らす探照灯の光芒の下をくぐって、敵駆逐艦より魚雷が発射される。

頭部に、ほの明るい電灯をともした演習用魚雷が、幾本も長門の舷側めがけて走って来るのを、右に左に舵を切ってかわす。

しかし、次々に走って来る魚雷の或るものは長門の艦底下をくぐり抜けて行つた。演習用のものだから、艦底をくぐり抜ける様に調整してあるのだが、これが実戦だつたら長門の脇腹で爆発し、大穴をあけるばかりか、艦橋の我々はふつ飛んでいるであろう。

始めて見る海軍の諸訓練に感心しつつ、二十五日朝には九州の佐伯湾に到着、お正月をはさんで二十日余りを、艦隊は上陸なしの訓練に励んだ。

佐伯に来ると間もなくお正月。艦隊でも訓練のかたわら、お正月を迎える準備にとりかかり、ガソルームでも餅を搗いた。と言つても、ガソルームの炊飯兵や従兵が搗いて呉れないので、我々は搗き上ったのを食べるだけである。

舷門やマストの上にも松飾りがとり付けられた。

元日の朝は、艦橋や甲板に総員が

整列して遙拝式が行われ、式後、夫々の士官室や兵員室で祝杯があげられ、あとは休業になつた。

この元日に撮った、ガソルーム總員の記念写真が残つてゐる。

舷門に立てた門松が写つてゐる。総勢二十八人。三列に並び、一番前列は椅子にかけた中尉八人が、ケップガンと機関長付の中川機関中尉を中心左右に並んでいる。これら中尉八人のうち、本職の軍人はこの二人だけで、あとの六人は皆、短期現役の中尉であるところが面白い。

軍医中尉は見藤、岡本の二君だが二人共、大東亜戦争で戦死をされてゐる。薬剤中尉が高柳君と、それに技術科の中田造船中尉と森山造兵中尉である。

一番後列の真中に背の高い男が一人。これは松尾敬宇少尉である。彼は、大東亜戦争中、濠洲のシドニー湾に潜入した、第二次特殊潜航艇に乗組み戦死を遂げた松尾大尉である。又、阿川弘之氏の小説、軍艦長門の生涯に屢々登場する杉山績主計候補生も、がつちりした体軀で写つて下さつて、亀の井ホテルのグリル

さて海軍の生活の一応の区切りは日の出、日没であるが、この日の出、日没の軍艦旗の掲げ方、降し方の際、ガソルーム士官は出来るだけ甲板に出で軍艦旗に敬礼をするように仕付けられたものである。

我々が甲板に出で来られ、長

隊司令長官も甲板にて來られ、長

先年亡くなられた。

二、三日の休養を別府でとると、艦隊は再び第二の作業地、高知の宿毛湾に移動した。ここでも暫らく上陸はなく、毎日の訓練に励んだ。

私が諸訓練の中で一番関心を持ちその見学を待望していたのは、長門の主砲の射撃訓練であった。

当時、世界で最大の口径を有する

長門の主砲を、演習ではどの様にして撃つのであろうと、興味を持つてそのチャンスを待つたのだが、残念ながら遂に四十粍の砲弾が飛ぶ様を見ることが出来なかつた。



艦隊は佐伯湾での訓練を終へると人。これは松尾敬宇少尉である。

彼は、大東亜戦争中、濠洲のシドニー湾に潜入した、第二次特殊潜航艇に乗組み戦死を遂げた松尾大尉である。

長門の当時の主計長山田寿吉主計

中佐は東京府立一中の出身で、私の

大先輩であった。私が一中の出身だ

ことは、費用の点で仲々大変なことなので、海軍では、巨大な主砲の砲身の上に小さい大砲をセットし、この小さい子（ね）砲に実弾を込めて

射撃訓練を見学したのであつた。

四十粍砲弾を演習に屢々使用する

ことは、費用の点で仲々大変なこと

なので、海軍では、巨大な主砲の砲

身の上に小さい大砲をセットし、こ

の小さい子（ね）砲に実弾を込めて

射撃練習をしたのである。

で昼食を御馳走になったことがあ

る。また、山田中佐は一中で徳川夢声氏と同級生であつた関係から、横須賀碇泊の折、夢声氏を長門に連れ来られ、兵員を集めて漫談を聞かせたこともあつた。

大変温厚な、親切な方であつたが

ものである。

私は甲板に出でて来られ、長

隊司令長官も甲板にて來られ、長

先年亡くなられた。

二、三日の休養を別府でとると、艦隊は再び第二の作業地、高知の宿毛湾に移動した。ここでも暫らく上

陸はなく、毎日の訓練に励んだ。

私が諸訓練の中で一番関心を持ち

その見学を待望していたのは、長門

の主砲の射撃訓練であった。

当時、世界で最大の口径を有する

長門の主砲を、演習ではどの様にし

て撃つのであろうと、興味を持つて

そのチャンスを待つたのだが、残念

ながら遂に四十粍の砲弾が飛ぶ様を

見ることが出来なかつた。

しかし、その代りに、子（ね）砲

射撃訓練を見学したのであつた。

四十粍砲弾を演習に屢々使用する

ことは、費用の点で仲々大変なこと

なので、海軍では、巨大な主砲の砲

身の上に小さい大砲をセットし、こ

の小さい子（ね）砲に実弾を込めて

射撃練習をしたのである。

で昼食を御馳走になつたことがあ

る。また、山田中佐は一中で徳川夢

声氏と同級生であつた関係から、横

須賀碇泊の折、夢声氏を長門に連れ

来られ、兵員を集めて漫談を聞か

せたこともあつた。

つぱって走る。標的に白い帆をつけ、帆前船のようである。この何千米の彼方を走る標的目がけて撃つのである。それでも主砲を操作するの大体同じであるから、あの巨大な砲身が左右に旋回し、或る時は水平に、或る時は天空にそびえ立つて、仲々の壯觀であった。

成る程、主砲の演習とは、こうするものであるかと、往路の夜間訓練で見た魚雷のヘッドライトと共に、海軍での新知識を得たのであった。その他、特務艦、明石や間宮の見学、戦艦陸奥での応急訓練、佐多における沈没潜水艦引上作業の見学などもやつた。

又、第六戦隊、加古、古鷹の巡洋艦が出動する応急教練があり、私は、古に乗艦してこの教練を見学した。この二隻が三五ノットの全速で進むと、その艦首は大きく水を割って、その姿は勇壮であり、全速進行中の主砲射撃訓練も行われた。

加古、古鷹は同型であるから、古の艦橋に立つて古鷹を見ていると、自分の乗っている加古の姿や動きも分るというわけである。

次いで、二月八日に宿毛湾を出港、翌日、西宮港に入港した。

この年は、たまたま、紀元二千六

百年に相当したので、二月十一日の紀元節を迎える艦隊の記念行事として、権原神宮、桃山御陵に参拝するためであった。

この参拝が終ると、艦隊は西宮を出て、伊勢湾に移り、ここでも伊勢の皇大神宮への艦隊の参拝が行われた。

そして、この伊勢湾でも、特務艦剣崎及びイ号第七潜水艦といふ当時としては大型の潜水艦を見学、生れ始めて潜水艦に乗せて貰い、おまけに潜水航行まで体験させてもらひ、思い出の一つとなつた。

二月もいよいよ下旬を迎へ、私達の乗艦実習の期間も終末に近づいた二月二十七日、艦隊は鹿児島湾に入港し、始めて桜島を仰ぎ見た。

しかし、その後に、横須賀鎮守府附として転勤の電報を受け、色々と海軍の艦隊生活の知識と体験を与えて呉れた長門と別れることになったのである。

僅か三ヶ月ではあったが、長門に起きて、長門に寝、毎日を長門に過ごしたのであるから、我が家のようにその思い出は尽きない。

あのガルームの仲間は、随分戦死者も多かろうが、生き残った人達は、今どうしているのだろうか。

## 理由

# ライフスタイルを 考える

株博報堂第一本部  
マーケティング部

デイレクター 小田恒勝

## （一）はじめに

最近「ライフスタイル」という言葉がマーケティング用語としてよく使用されている。例えば「ライフスタイル分類」で云う所の「ニューファミリー」とか「ハイライフ志向の人々」とかいふた言葉で消費者をセグメント

トして表現することがよくある。

これらのライフスタイル分類の用語は何となく共感するが、その定義となると大変むつかしい。

会議などでこの商品は「ニューファミリー」向けだという事で意見の一致を見ても、会議に出席した個々人が全く同じ理解をしていないことがよくある。今日はこの「ライフスタイル」について考えてみたい。

消費者をセグメント化し、それぞれ分類タイプ別に、最もマッチしたマーケティング戦略を樹立させて行こうという試みは、ずっと以前より行なわれていたものである。

例えば男女、年齢といった人口属性的分類、又は職業、学歴、年収といったソシオ・エコノミカルな分類に含まれるもので行われていた。このような分類指標はマーケティング論導入の初期においてはそれなりの意味を持っていたが、今日のように緻密なマーケティングポリシーを開拓する必要が生じて来ると、その分類が茫洋としき、具体的でないためマーケティングアクションへのフィードバックが困難になってしまった。

またこれらの指標のそれぞれを独立してセグメント化してゆく場合、その特定集団に含まれる消費者像が社会、経済的環境の変化、進展とともにより多層的になってしまった。

例えば年収別に層化し、同一年収グループをとりだしてもその中には年齢の若い独身層もいれば中高年齢で扶養家族のある人も含まれてしまい、同一年収グループという同一のフレームの中で消費者像を考えマーケティング活動を開拓していく場

合に無理を生じて来た。

この無理を解決する新しい消費者

像の分類の方法の一つとして出て来たのがライフスタイルの考え方である。

ライフスタイル分類は従来のデモグラフィック、ソシオエコノミカルな属性分類に代り、また、これを補完するものとして社会行動、消費行動を主として心理的側面より追求

を把握する分類として登場したものである。

しかしライフスタイル分類についてはマーケティング業界の中でもまだ標準化がなされていないのが現状である。

この分類の一つとして登場したものは、主として行動分類として登場したもので、これはマーケティング業界の中でもまだ標準化がなされていないのが現状である。

### III ライフスタイル分類への

#### 一つの試み

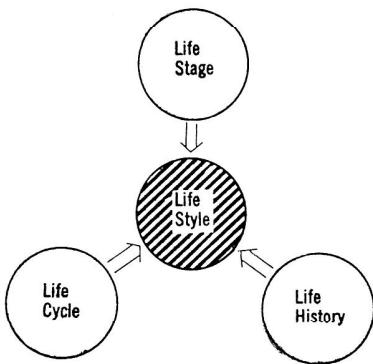
ライフスタイルが生活意識や行動の型の一つの分類であると考えた場合、ライフスタイルは次のように考えることが出来る。生活意識や行動の型を左右する主な要因として次の三つが考えられる。

- ① Life Stage; 子供の有無、その年齢、自分や主人の社会的地位、それに対応した収入など
- ② Life History; 自分が育った時代背景、生活環境、受けた

- ③ Life Cycle; 生理的な発達段階、例えば腕の発達、体力、視力、消化器の能力など

これら三つの要因が複雑な交互作用を持ちながら、生活意識や行動を決めていくものと考えることが出来る。

ただその行動分野によっては三つのうち一つの要因のみが優位に働くことはあるだろうし、また別の行動分野では逆にその要因はほとんど機能しないこともあるだろう。



## 教育、子供の時の親子関係など

### △10代主婦

……モノは欲しいがカネのない

(1)赤ちゃん持ちのインテリ主婦

四人に一人は短大、大卒、最も高

い教育水準。八割の主婦が乳幼児(0

～5歳)を抱え、年収は二五〇万円

未満が半数、経済的にも苦しい主

婦。持家率が低く、民間アパート、

公団住宅の二DK。収入が少ないう

えに家賃が家計を圧迫している。

### △20代主婦

……心にも、財布にも余裕のない

(2)価格第一主義のショッピング

家計は苦しいが将来のために貯蓄

もしたいと考えている。日常使う食

品洗剤などは銘柄にこだわらず、ユ

ニットプライスを比較したり、割安

大型サイズを購入するよう努力して

服飾は安いものを購入している

が、組合せを変えてコーディネーシ

ョンやレイヤードを楽しむ。またコ

ーヒーのような嗜好品だけはケチら

ないでぜいたくするなど、切り詰め

た生活の中でもささやかなぜいたく

を楽しんでいる。

### △30代主婦

……心にも、財布にも余裕のない

(3)夫婦で行動、家事も協同

も安いものを購入するというショッ

ピングを卒業し、名の通った一流メ

て欲しい、たまには夫婦だけの時間を持ちたい、一諸に旅行してみたいと願う主婦である。生活面でも夫に掃除、洗濯食事の後片づけなどを手伝ってもらおうことが多く、夫の意見で日用品の銘柄が決まることが多い。

夫には仕事より家庭を第一に考え、夫には仕事より家庭を第一に考え

一ヵ一商品、品質のよい商品を少しでも安く購入しようと努力している。新製品について一般に関心が薄い。子供の一言で買ってみる事も多い子供に弱いママ。

### (3) 子供中心、家庭中心の生活

子供の成長につれて家庭内でも夫と妻という関係に加え母と子という意識が生れる。家庭内では子供中心の生活 旅行も食事も子供中心。主婦の関心事は家族の健康、子供のしつけと教育。

### (4) 質より量の食生活

(5) 容姿のおとろえが気になる

### △四〇代主婦▽

豊かな主婦  
……ゆとりがうまれ、食生活

### (1) 家庭は縮少期

(1) ヒマとお金のできた四〇代主婦  
子供が大きくなり、末の子も中学生、上の子は大学に入る時期になり、子供に手が離れる。主人は会社で経営管理といった重要なポストにつき収入も大幅に増え、家計も楽になっている。住宅も過半数の人々が一戸建の家を持っており、子供達も一人一部屋を持つ世帯が多くなっている。

### (2) 趣味の生活を楽しむ

経済的にも豊かなことから時間的なにも心理的にも余裕が生まれ、お茶、お花など自分の趣味を楽しんだり、夫婦そろって、あるいは気の合った仲間同士で旅行や観劇に出かけなど子供を離れた自分だけの生活

食生活の上で最も豊かな年代がある。食卓に中華、洋食が並び、ワインが置かれることも多い。チーズ、バター、ドレッシング等もよく使用される。食後にはアイスクリーム、フルーツ、洋菓子などのデザートを摂ることも多い。毎日使う食品は出来るだけ自然なものを使う。新しく発売された食品には不安を持っており、人からすすめられなければ買わない。

(3) ファッションには関心が薄い  
(4) 家事には飽きがきている

### △五〇代主婦▽

……自分の生活を楽しんでいる

## 思 い 出 の 記

(この研究についてのお問合せは  
博報堂マーケティング部まで)

三宝製薬株式会社

社 長 渡 辺 久 吉

をエンジョイするようになる。  
(3) 自他共に認めるベテラン主婦  
(4) 食生活は和風料理  
(5) ショッピングは品質第一、使い慣れたもの

以上の主婦年代と生活意識、行動の事例はライフスタイルをより実用化するための研究の一部の結果である。今後大衆薬、保健薬の購買行動、健康関心といった事項をも対象としてライフスタイル研究を行つてゆく予定である。

然し、実際に各業者の内情迄によく精通して居られるのは故人藤井得三郎氏でありますから早速藤井氏に

この趣旨をお伝えし組合再生の御指導を御願いしましたところ、心よく御引き受け賜り愈々結成式を東京会館で举行する運びになり創立総会で満場一致初代理事長玉置弘三氏、副理事長、渡辺久吉という訳でめでたく東京都家庭薬工業組合として発足しました。

これも故人の藤井得三郎氏が御親切に御援助のお蔭で今日もなお深く感謝致して居ります。発足当時はまだ戦災の復興も十分でなく、取りあえず玉置さんの一室を借り運営に着手した訳ですが、いつまでも借り事務所では組合の強化も望めませんの

で、竹内課長から私は非家庭薬の組合を設立するようにと御依頼がありました。其の際玉置弘三氏は戦争中医薬は非常な品不足で、困難な時に、医薬品の供給に誠意を以つて、大層協力してくれているし、戦時中の売薬企業整備の実現に努力し整備後の業界をよく理解している筈だから弘三君の下に副として助けてやつて貰い度いとの熱心な懇請があつたので、止むなく之を拝受した次第です。

でどこかに組合所有の事務所を欲しいと理事の皆さんと相談しましたところ、これも故人の藤井さんの御配慮で新川に三階は焼けているが地所付で二十五万円の売り物があると教えて頂き、早速理事会を開きその足で全理事が揃ってそれを見に行きましたが、そのときに故人の堀君が誰かにささやいて、もし組合が買わなければなら俺が買いたいと云っているのを耳にして、これは価値あるなと思ったので買うことに御賛同を得て、故人の湯浅君と二人で帰りに玉置氏の事務所に廻り玉置氏から五万円を借りその足で故人藤井さんを訪ね是非買いたいからと手金五万円を預け、その交渉を進めて頂き、その買収金二五万円と三階の修理費や雨漏りの手当てと組合の運営費等を含めて六十万円の資金集めのため臨時総会を開催し右の事情を説明し、皆さんから夫々御協力を願い度いと提案しましたところ満場一致で可決御承認を得て、その割当ての方法は理事会一任を承諾され、夫々の組員に御願いしたところ、心よく御出資願えて予定通り六十万が出来ましたので、早速借りた玉置さんの五万円も返し、名実共に組合の事務所が所有出來た次第ですが、任意組合で財産

の所有は認められませんので、取りあえず理事長の名儀で所有し、直ちに協同組合法に準じて改名することを臨時総会で承認を得、現在の東京都家庭薬工業協同組合と改称され訳であります。

序に理事長の変遷について概略述べますが、玉置理事長も三年の改選期になりまして、組合員の中から大木関係の方から次の理事長は大木さんとして、大木、玉置の交互制にすべきだという相当強い要望が出て少し内部に対立の模様が生じましたので、実は故人藤井さんが設立当初に私に条件という程ではないが家庭薬の組合は從来から誠に円満に運ばれて來ているので、この良い歴史を引き継いで守ってくれるようにと親切に御指導を頂いて居りましたから、

ここで組合の内部に円満を欠くようなことがあつたら藤井さんに申し訳がないと考えましたので、藤井さんを囲んで主だった理事の諸君と相談の結果、大木派、玉置派といふ關係の問題を解消するには、卸を兼業している業者からは理事長を出さない事にし製薬専業の中から選ぶといふ内約を作り、差し当り大木にも玉

湯浅嚴氏は年輩も上であるからとの意見が満場一致で決定し、第二期の理事長に故人湯浅氏が就任することになりました訳であります。

## 玉置弘三氏を偲ぶ

理事長 津 村 重 舎

玉置さんとは終戦後、まだご

たしてゐる混乱時代に思い出してはから十五年間、副を勤めて組合の運営に努めて來た者を一回も正理事長にさせないのは道義に反するという

ことで、三代理事長として就任させて頂き三年間を無事に勤めさせて頂きました。

当時は当初の理事の主な方々、即ちお父さんは逝去又は会長となら

れその子息方は成人され、殆んど理事になっておられるので、この辺が沙時と考へて退任させて頂き四代目理事長には現在の津村重舎さんが就任され今日に及んでいる次第であります。以上組合の推移を駆け足で綴らせて頂きました。

或る時、玉置さんがハワイか何處か、南方に出かけると言う話がでて

ございました。

また時には鳥繁の屋台で背中の寒さを気にしながら目の痛くなる程の煙の向うにおやじの顔が見え、おかみさんのサービスしてくれるただのステップをする等、思い出はつきませんが、どんな時でも私が先に酔つてしまつたようでした。



故 玉置弘三氏

な世界からヨーロッパ旅行をしておられるかも知れないと思ってみたりもします。

それも段々内容は忘れて時ペー

ルの向うに過ぎ去ろうとしていま

す。

楽しい思い出は、あのにここにこ顔と共に忘ることはできません、戦

後二十二年から二十五年まで理事長として重要なお仕事をお願いした訳です。

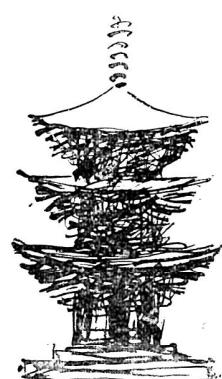
その当時のさつそらとした青年玉置氏は仲々いかした理事長さんでした。

## 玉置弘三遺作展 開かれる

その時は玉置さんも、何となくヨーロッパも良いが先ず取敢えず南方に行くのだとのことでした。

内輪のご事情もあるようなことも言っておられたので色々考えても玉置さんの絵はヨーロッパで新らしい発見をされるだろうからと、何度も言い張つて後から堀君が、ヨーロッパと言われるが色々事情があつた。

戦後の混乱期に当組合初代理事長としてご活躍になった玉置弘三氏の遺作展が十一月十七・十八日の両日本橋俱楽部二階展示場で催された。



## 財務委員会

委員長 中村源三

会員の皆様から多額な賦課金を徴収して、組合の会計を管理している当委員会としては、毎月定例に会計処理を監査し、適正に処理されてることを報告致します。

ご承知の様に、当会所有ビルの部屋貸による貸室料収入は、当会事業予算の二七%を占めて居りまして、有効に会員の利益に還元されております。そして、現在も円滑に推移致して居ります。

永年に亘り財務を担当してまいりましたが、この委員会の性格上、皆

のにじみた温雅で格調高い画風で知られた玉置氏の遺作展ということとで薬業界関係者をはじめとして約二百人の入場者があり、大変に盛会であった。

ます。

ご承知の様に、賦課金は一年を三回に分割してご請求致しております。

組合の性格上、ご納入が遅延致しますと、資金繰りにも影響致しまでの、なるべくお早目にご納入下さいます様、紙面をかりてお願い致します。

第一は変電設備の変更工事について

て、仲々思う通りに行かない所もあつて、と言わざりと人変失礼なことをするものだと恐縮した次第ですが私としては、きっと私の好きな絵が出来たろうと残念でした。

今思つてもはつきりと、あの困ったような、お顔が目に浮びます。別

品約六十点が展示された作

てのご報告です。

従来の設備は、高圧線より電力を引き込み変圧して使用してまいりましたが、高圧線のVA数の変更に伴い、現有の変電設備では使用不可能になりました。東電と相談了解の上、家庭用電灯線より引込むことになりました。

変電設備の撤去工事は、株建電社に依頼し、十月中には完工の予定です。又、これらの經理処理についても税務当局と相談の上適正に処理する所存でございます。

設備の撤去跡は、約七坪程のスペースが出来、事務用消耗品の倉庫に転用出来ることと、従来変電設備の保守等にも相当な費用がかかっていきましたのが不用になりますので、会と致しましても、設備変更が有効であると判断致して居ります。

以上

G M P 委員会  
委員長 渡辺俊邦  
医薬品製造業にG M Pが実施され  
て二年目の現在、構造設備について  
は多額の資金を投じながらも、各々企  
業サイドで必要可能な構えがほぼ出  
来上つて いると思 います。

五十二年度重点指導項目にもある

様に我々メーカーは責任のもてる品質管理と製造が総括的に運営され、高度な品質保証と品質確保がなされる様、対処しなければならないと考えます。

委員会はG M P解説書改訂についても、日連G M P委員会と共に皆様の御協力を得ながら二十数件の要望事項を厚生省当局に願いしてきました。

九月二十七日、日連G M P委員会の場で当局より最終的な改訂の内

容が表明されました。当然の時点に於ける内容では、問題点として、作業室共用の件、作業室清潔度保持の件、苦情処理報告の件、原料試験の件、高度な試験設備の集中管理の件等多くが残っております。

直面している苦情処理報告につい

ては、薬事法とのからみも有るの  
で、委員会より皆様に処理内容の実  
体、事例を提出していただき、充分に  
検討して処理報告の範囲や、当局  
がわの対処のされ方について、年内  
に要望していく等の活動をしており  
ます。

微生物汚染の菌数限度、及び試験  
法等も直接G M Pの基準には無い様

る様になれば、結果的に運営面で関連してくる大きな問題だと思いま  
す。  
今後ますますソフト面での確立に  
關連してくる大きな問題だと思いま  
す。

今回のG M P解説書改訂で、かなり実体に応じた内容となつたことは  
たしかですが、反面メーカーとして  
なし得る条件として其の責任の  
度合が強くしめされたとも考えられ  
ます。

当局では五十二年度実体調査の結果を現在集計整理中であるとのこと  
ですが、我々としては、其の集計結果よりメーカーとして、現実的に製品の保証確立をいかにするかの方が  
問題なので今後ともG M P及び薬事法をからめて直面している問題や其  
の他、現時点でペンディングとなつた問題等、数多くあります。

このうち、胃腸薬製造承認基準（案）については、厚生省薬事審議会一般用医薬品特別部会において、去る三月より検討が開始され、部会が開催される都度、問題点が指摘され日連薬製委員会を通じて示される  
一般的な受入口ロット管理では自社の最終製品規格の統一された原料として  
に胃腸薬関係組合員の参加を得て、  
検討会を開催し、意見をとりまとめ

本年、当委員会で検討を行った主な課題は、

一般用胃腸薬製造承認基準（案）

一般用便秘薬製造承認基準（案）

一般用点眼薬製造承認基準（案）

一般用医薬品使用上の注意記載要領（案）

### 薬事委員会

委員長 喜谷市郎右衛門

などである。

このうち、胃腸薬製造承認基準（案）については、厚生省薬事審議会

一般用医薬品特別部会において、去年三月より検討が開始され、部会が開催される都度、問題点が指摘され日連薬製委員会を通じて示される

一般的な受入口ロット管理では自社の最

終製品規格の統一された原料として  
に胃腸薬関係組合員の参加を得て、  
検討会を開催し、意見をとりまとめ

日薬連胃腸薬プロジェクトチームの審議に反映させている。

この様な作業は、今後も引き続き行われる予定である。

#### 便秘薬製造承認基準（案）について

ても委員会で検討を行った外、便秘薬関係組合員の参加を求め、日薬連原案について説明を行うと共に検討を行い、意見をとりまとめ、日薬連薬制委員会のプロジェクトチームの審議に資している。

本案は現時点においては未だ薬制委員会でとりまとめ中である。

#### 点眼薬製造承認基準（案）について

ては、点眼薬関係組合員は、極めて少数で、しかもED会のメンバーでもあるので、特に関係組合員の検討会は行わなかったが、組合員全体に通知して意見を求めた。

一般用医薬品の使用上の注意記載要領については、本年一月、厚生省原案が業界に提示され、これについて当委員会でも検討を行い、日薬連安全性懇談会に意見を提出した。

三月末に日薬連では各団体意見を取りまとめ厚生省に提出、厚生省はそれを参考に一部原案を訂正、最終案を業事審議会安全性特別部会等に諮り、審議し、八月十日付で薬務局長通知により、公示した。

取りまとめ厚生省に提出、厚生省はそれを参考に一部原案を訂正、最終

案を作成いたしました。

昭和五十二年度版の広告統計資料

O主催西太平洋会議が、専門医療薬の地域活用に統いて九月十三日から十七日まで経団連会館で開かれた。

西太平洋の十六ヶ国と東南アジアか

今後は、この記載要領にもとづき日薬連安全性懇談会で、薬効群毎に、使用上の注意事項の原案作成の作業に入る予定である。

当委員会としては、この作業に協力すると共に、夫々の薬効群に關係のある組合員の意向を原案作成に反映させてないので、益々組合員との連絡を密にして行く積りである。

何卒、その際は積極的なご意見を遠慮なく提出される様、お願い申し上げる次第です。

## 広 告 委 員 会

委員長 山 崎 寅

当委員会は、日薬連の広告実務委員会に合せて、だいたい月一回、テレビ・新聞・雑誌・その他の広告諸問題の連絡会を致しております。

最近、検討しました各社のテレビコマーシャルの広告表現については、組合加盟会社各位の積極的な自肅努力のお陰をもちまして、違反広告は極めて少くなりました。

昭和五十二年度版の広告統計資料

調査された。

二、薬用植物の活用に関するW H

O

主催西太平洋会議が、専門医療薬

の地域活用に統いて九月十三日から

十七日まで経団連会館で開かれた。

西太平洋の十六ヶ国と東南アジアか

この統計資料が広告活動に少しでもお役に立てば幸甚でございます。

もお役に立てば幸甚でございます。五ヶ国と合せ約一〇〇名の参会で盛会かつ活発な討論が行なわれ極めて有意義であった。

石坂は九月五・九日のF I P - 1グ大会を終え、直ちに帰国後参会したが、十七日の終会で、(1)薬用植物の各国における使用状態の調査・改善、(2)将来薬用植物に関する地域二十五ヶ国以上の国から三五〇名以上上の参会者があり、日本からは津村重孝W F P M M副会長ご夫妻、内藤祐次理事ご夫妻を始め計十八名の参加があつた。

また、中島W H O担当委員がW H Oでの開会式に出席され、御自宅でも御招宴を催され、大変お世話になつたことに改めて深謝いたします。

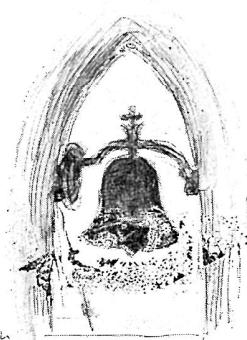
大会の内容については、日本製薬

会連合会・日本大衆薬懇談会の共

同編集で報告書が発刊された。

大衆薬が医療上極めて重要な役割をもつてその使命を果たしており、将来もその活動を拡充すべきことが強調された。

この会合についても、中島W H O担当官の御配慮に対し深謝します。

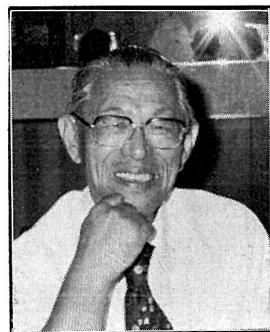


33

## 社長のことども

ニチバン㈱相談役

歌 橋 一 典



故歌橋均也社長

帰京の車中でも詳しい様子が解らぬまま、走馬灯のようにあれこれ想いが回る。場合によっては直ぐに

札幌へ飛ぶことも考え乍ら十六時過ぎ本社へ急ぐ。札幌へは令息と大塚専務が今朝行つた由。その日は札幌の取引先の方々で通夜が行われ翌日遺体のまま帰宅するという知らせも逐次入る。

二十四日午後羽田へ出迎え中野のお宅で近親者での通夜、その席で札幌へ同行していた小林会長から今回旅行中の様子の報告がされた。

八月二十三日朝九時を少し過ぎてから金沢支店に出張していた私に、本社の岡田専務から電話「お驚きにならないで下さい。実は今朝札幌で……」と社長の急逝を知らせてきた。もう十分も遅ければその日の予定で外出してしまった後だったろう。その日からの予定を中止、直ちに帰京すべく手配。

別掲の写真はその前夜、挨拶廻りをすませたあと、寿司屋でシャツターレを押させたものだが、如何にも元気相で而も明るい。まさか翌朝には不帰の客となるうとは想いもつかぬ様子である。

予てから心臓病を自覚していた社長は、就任以来一層要心を重ね、医師の助言をうけて、やることにも心掛け、最近は「体調もよい」など師の助言をうけて、やることにも心掛け、最近は「体調もよい」などと自分でも云つて居ただけに私共にとつても思いがけぬ出来事であった。

昨年九月以来、会社再建にかけて卒先して小林会長と共に全国の得意先をまわり、再建にかけての抱負と協力を要請し、社内にあつては「セルスなくして経営なし」の旗印の下に垂範努力されて來たところであ

今回の北海道の挨拶まわりで全国一巡ということも、何かホッとき

る気の緩みもあつたのかも知れぬ

が、会社再建にかけて奮闘中、第一

戦に斃れた司令官と同じで、自らの生きざまを示したとも云えるのではなかろうかと考えている一人である。

個人的な面での想い出は余りにも多い。叔父のマンドリン演奏、私の大学入試の頃の事ども、戦争中の企業整備での活躍、それ以降二十余年にわたる大阪での生活（この意味では仕事を通し、趣味を通して大阪に知り友が多い）、ゴルフのこと、ローラ

リアンとしての数年のこと、趣味としての小唄、清元等、想い出には尽きるところがない。

○組合創立三十周年記念行事は第三十回通常総会に引き続き午後四時より赤坂プリンスホテルパールホールで開催、昭和五二年度事業計画その他議題を承認、可決し終了した。

株式会社 笹屋製薬本舗  
昭和五二年七月八日  
日新医薬株式会社

昭和五二年四月八日  
荒川長太郎合名会社 東京事務所

## 事務局だより

◇組合

○新規加入組合員ご紹介  
昭和五二年三月一日

荒川長太郎合名会社 東京事務所  
昭和五二年四月八日

○新規加入組合員ご紹介  
昭和五二年七月八日

株式会社 笹屋製薬本舗  
昭和五二年四月八日

○六月六日午後六時より伊豆大仁ホテルにおいて組合春季懇親会（厚生委員会主催）が盛会に行われた。

◇栄えある各受賞者

つつ擲筆します。

昭和五二年度の業界功労者に対する

る各種の賞が次のとおり贈られました。

今後益々健勝で業界のために尽力あらんことを祈りご祝福申し上げます。

### 春の叙勲

勲四等旭日小綬章

山崎友久殿  
(建林松鶴堂)

### 薬事功勞

東京都知事賞  
(太田昭殿)  
(太田昌散)

○組合員の名称変更のお知らせ

江戸製薬株式会社より合併のため住所及び組合員名を次のとおり変更した旨の届出があつたのでお知らせいたします。

名称 山田製薬株式会社

住所 茨城県新治郡出島村深谷二

四一八 電話〇二九八二三

一九六一

東京営業所 杉並区阿佐谷北四一

一五一一

電話三三〇一三一五一

### ◇全家協

○五月一九日赤坂プリンスホテルでリーガンホールで第一二回定期総会を開催、昭和五二年度事業計画その他の議題を承認可決し終了後厚生省薬務局長等の来賓を迎えて祝賀会が盛会に行われた。

## ヒポクラテスの宣誓

(五頁参照)



ア、バナケイア およびあらゆる男神女神の前に誓う。この誓約、この義務をわが力、わが誠を以て服膺せんことを。わが師を親とあがめ、福徳をともにし、必要の場合には需要の物品をもかつべし。その子孫を視ることわが兄弟の如くし、医術を学ばんと望むものには、無報酬、無条件にてこれを授くべし。わが子、わが師の子及び学籍に登録せられ、医師規約によりて宣誓したる人々は、学課、講演、その他すべての教習にあづからしむと情交を結ぶ如きことをなさざるべし。これと同様に医業とする人に委ねべし。いはづしてみずから載石術を行なうことなくこれを業務とする人に委ねべし。いかに業務となるにも、一に病者の安寧を念とし、不善不義を遠ざけ、ことに男女を問わず、自由民と奴隸とを論ぜず、これを業務とする人に委ねべし。されど情交を結ぶ如きことをなさざるべし。それと同様に医業とする人に委ねべし。されどこの家に入るにも、一に病者の安寧を外せざるべし。

るも、それ以外の誰人にも許さざるべし。わが力、わが誠を以て病者のために計りその危害を防がんことを努むべし。

何人に請わるとも、致死薬を与えず、またかかる指導をせず、婦人に堕胎用の器具を与えるべし。純潔と敬虔とを旨とし、わが生を送り、わが術を施すべし。

誰と相談しても、致死薬を与えず、またかかる指導をせず、婦人に堕胎用の器具を与えるべし。純潔と敬虔とを旨とし、わが生を送り、わが術を施すべし。

誰と相談しても、致死薬を与えず、またかかる指導をせず、婦人に堕胎用の器具を与えるべし。純潔と敬虔とを旨とし、わが生を送り、わが術を施すべし。

誰と相談しても、致死薬を与えず、またかかる指導をせず、婦人に堕胎用の器具を与えるべし。純潔と敬虔とを旨とし、わが生を送り、わが術を施すべし。

### 編集後記

「かていいやく」の表紙を飾り、又文中

のカットで読者に親しまれていた玉置弘三画伯が、五月末突然に亡くなられた。

次号は何時出るのか、何時頃までに書い

けば良いのかと、毎号積極的にご協力

戴き、編集にたずさわる者として何よ

り力づけられて居ただけに、大変淋しく

回想録の企画を樹てた処、卒業生百八十

余名中何と九十三名が執筆して與れ予想

外に立派な本を出版出来ると共に同窓の

団結も強まつた。当弘報紙も組合員諸氏

のご協力、ご激励なくしては充実したも

のを作り得ない。毎度泣き事で申し訳な

いが是非共企画等を含めてご出稿の程を切望する次第です。

(友田)

東京都家庭薬工業協同組合会報

かていやく 第三六号

昭和五二年一二月二五日発行

編集・印刷・発行

東京都家庭薬工業協同組合

電話(五四三)一七八六

われ能くこの誓いを守りて悖ることなからんには、ねがわくはわが生にわが術に幸多からしめ、永く世人の尊敬を受けしめ給わんことを。もし此を破らば、われに処するにその逆を以てし給うべし。